



ゆのおっ子だより

令和7年度 湯尾小学校長だより
2025.12.1 NO. 38

— 孫嫡子の謎にせまる！（3年生） —



講師の川崎さんです。

27日（木）に、3年生の総合的な学習の時間に現在探究中の「湯尾峠」についての学習がありました。今回は、かつてお茶屋さんで売られていた「湯尾峠と孫嫡子のお札」についてゲストティーチャーをお招きして勉強しました。ゲストティーチャーには、旭区の三田村寿さんと同じく旭区の川上敬一さんをお招きしました。

最初に、湯尾峠にまつわる歴史についてお話しいただきました。そのお話の中で、湯尾峠が、昔から交通の要として都（京都）に向かう旅人にとって大切な場所だったということがわかりました。そして、

たくさんの旅人のおかげで、賑わっていたということもわかりました。そんな中で、「孫嫡子のお札」いわれができ、現在まで言い伝えられてきました。実際に、使われたお札を見せていただきました。また、そのお札を印刷するための道具（版木）もを見せていただきました。この版木は、県の重要文化財に指定されており、勝手に印刷することはできないそうです。とても貴重な物を実際に見ることができてました。

3年生の子どもたちには、ちょっと難しい話や言葉が出てきて理解できないところもあったかもしれませんが、私たちの住むこのふるさと「湯尾」は歴史が深く、その流れはみやくみやくと現代の私たちに受け継がれているのだと感じることができました。

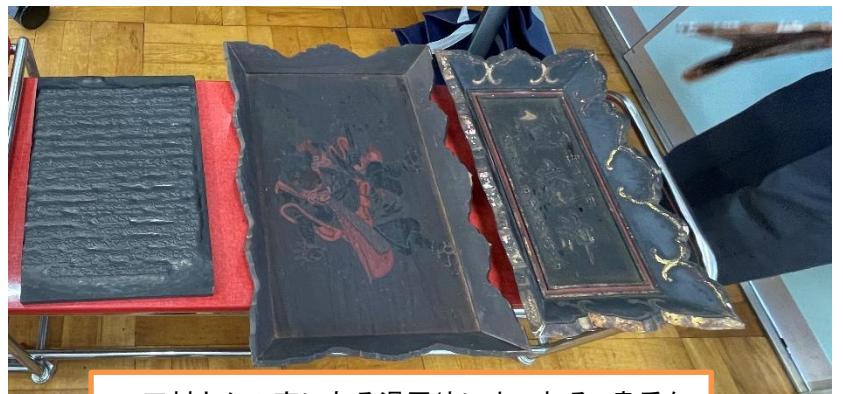
この学習を元に、この後の総合学習では「湯尾峠」を色々な人たちに知ってもらうためにクイズなどにまとめ、ふるさとをもっと深く考えていきたいと思います。



講師の三田村さんです。



お札の版木です。



三田村さんの家にある湯尾峠にまつわる、貴重な物もを見せていただきました。

※この文書の転載、複製、改変等は禁止します。